

■ドイツ：2011年上半期の再エネ発電比率が20%を超過

ドイツエネルギー・水道事業連合会（BDEW）は2011年8月29日、2011年上半期の再エネ発電電力量が573億kWhとなり、国内電力消費量に占める比率が、前年同期の18.3%から20.8%へと上昇し、初めて20%を突破したと発表した。太陽光発電は55億kWhから97億kWhへと急増したが、これは太陽光パネルの設置数が大幅に増えたほか、春に晴天が多かったことが背景にあるとみられる。再エネの中で発電電力量が最も多いのはこれまでと変わらず風力発電で、前年同期比13.1%増の207億kWh、2位はバイオマス発電（154億kWh）だった。なお、水力発電は、悪天候の影響により前年比で6.1%減少し、92億kWhにとどまった。